

全国森林計画の変更について

令和8年4月

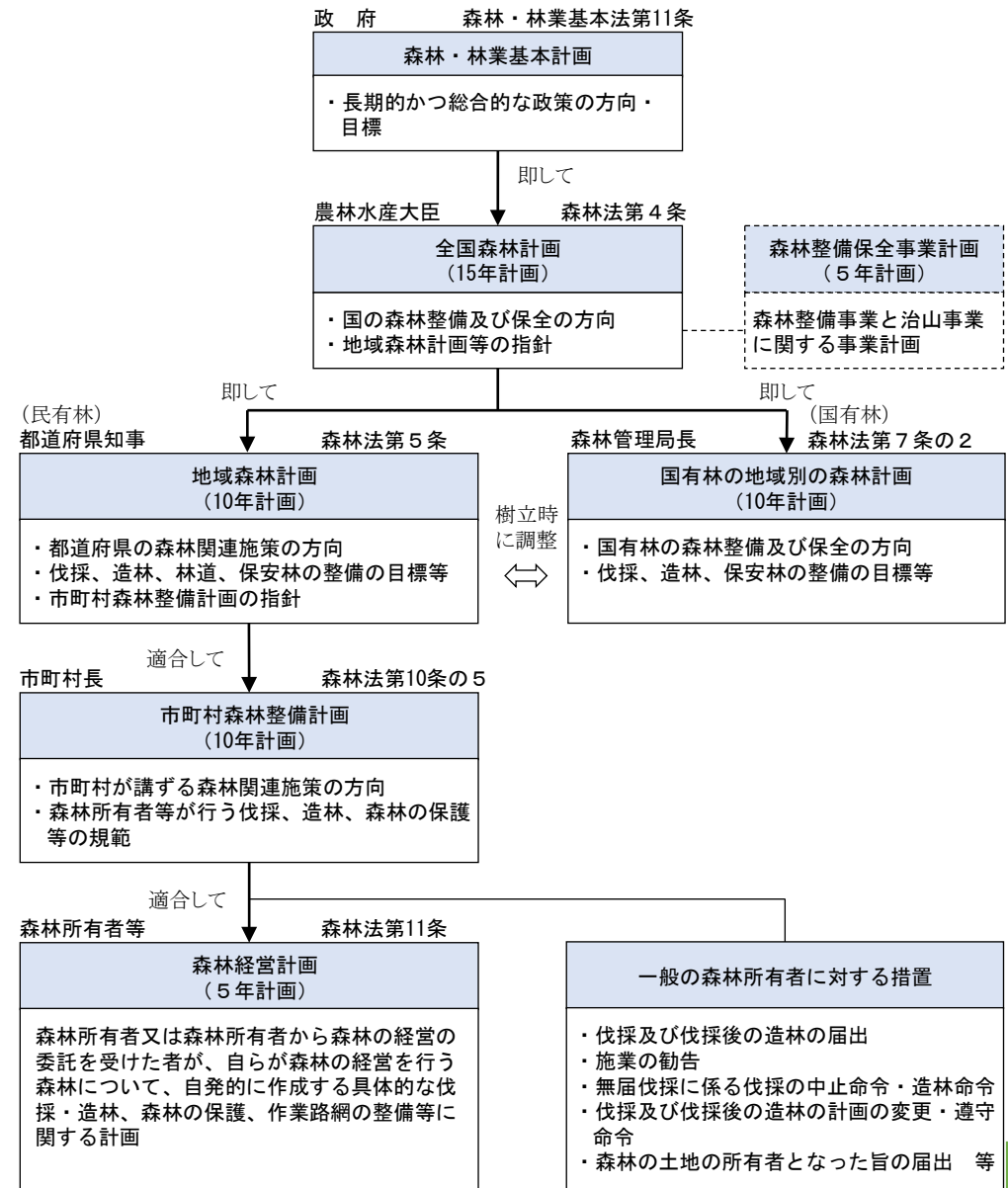
林野庁

「全国森林計画」について

■ 全国森林計画の概要について

- 全国森林計画は、農林水産大臣が森林法第4条の規定に基づき、森林・林業基本計画に即して、5年ごとに15年を1期としてたてるもの。
 (※現行の計画期間：令和6年4月1日から令和21年3月31日)
- 森林の整備及び保全の目標、森林施業、林道の開設、森林の土地の保全、保安施設等に関する事項を明らかにする。
- 広域的な流域（44流域）ごとに、伐採立木材積や造林面積等の計画量等を示すことにより、都道府県知事がたてる地域森林計画等の指針となる。

(参考) 森林計画制度の体系



「全国森林計画」の変更について (①概要)

■ 全国森林計画の変更内容

新たな森林・林業基本計画に即して、目標の区分や、伐採立木材積や造林面積等の各種計画量の見直しを実施（P. 3 参照）。

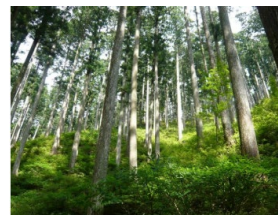
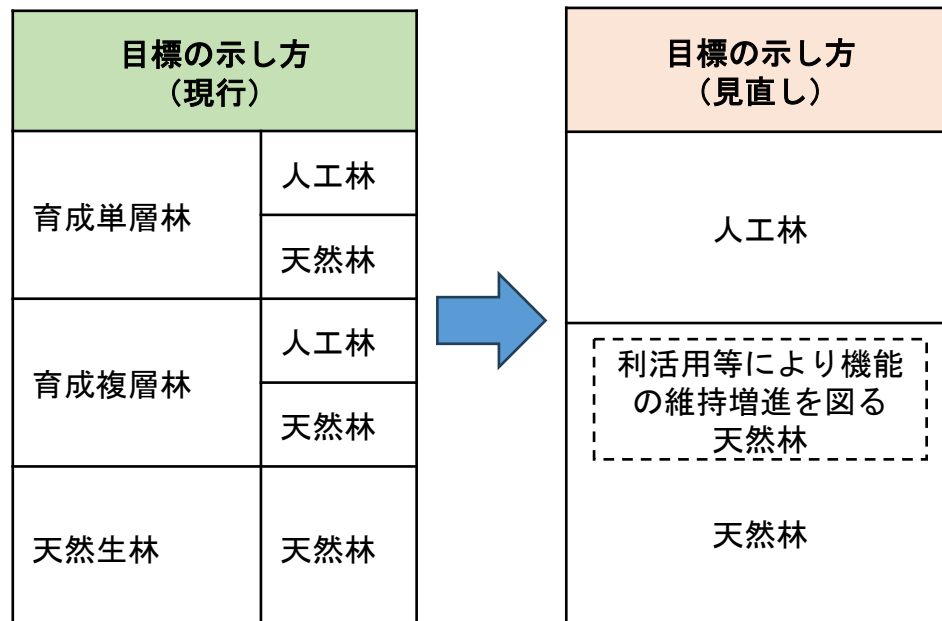
また、新たな森林・林業基本計画を踏まえ、以下を追加。

- ・ 林業適地での再造林の確保に向け、特に効率的な施業が可能な森林の区域の設定と森林経営計画の作成等の積極的な推進(本文 P. 2, 13)
- ・ 生物多様性保全の一層の推進(本文 P. 8)
- ・ 野生鳥獣対策や林野火災予防対策の推進(本文 P. 19)

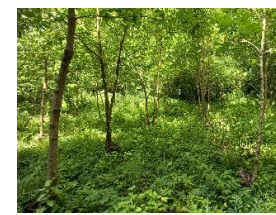
等

※全国森林計画変更後、都道府県の地域森林計画等についても見直し。

(参考) 森林・林業基本計画における目標の区分の見直し



人工林
(主に植栽により成立)



利活用等により機能の維持増進を図る天然林



天然林
(主に天然更新により成立)

「全国森林計画」の変更について（②森林の整備及び保全の目標等）

■ 全国森林計画に掲げる目標

① 森林の整備及び保全の目標

【現行計画】

(単位：千ha)

区分	現況 R4.3.31	計画期末 R21.3.31
育成単層林	10,099	9,801
育成複層林	1,110	1,727
天然生林	13,816	13,497
計	25,025	25,025

注1：天然生林には竹林、伐採跡地及び未立木地を含む。
注2：四捨五入のため内訳と計とは一致しない場合がある。



【変更計画】

(単位：千ha)

区分	現況 R4.3.31	計画期末 R21.3.31
人工林	10,216	9,921
天然林	14,809	15,103
うち、利活用等により機能の維持増進を図る天然林	1,116	1,729
計	25,025	25,025

注1：現況R4.3.31は林野庁「森林資源の現況」より。
注2：人工林には伐採跡地を、天然林には竹林及び未立木地を含む。
注3：利活用等により機能の維持増進を図る天然林の現況は、天然林のうち人為により成立しているものを集計。
注4：四捨五入のため内訳と計とは一致しない場合がある。

② 計画量 現行計画及び変更計画の裸書きはR6～R20の15年間の総量、()内は単年分。実績はR1～R5の平均値。

・伐採立木材積

(単位：万m³)

区分	現行計画	変更計画	(参考)実績
総数	88,899 (5,927)	85,194 (5,680)	(4,993)
主伐	54,458 (3,631)	53,889 (3,593)	(3,260)
間伐	34,441 (2,296)	31,305 (2,087)	(1,733)

注：実績値は森林・林業統計要覧より算出。

・造林面積

(単位：千ha)

区分	現行計画	変更計画	(参考)実績
人工造林	1,375 (92)	1,123 (75)	(34)
天然更新	792 (53)	790 (53)	(33)

注1：造林面積は区域面積。
注2：実績値のうち人工造林は森林・林業統計要覧より算出。天然更新はNFIデータより推計した伐採面積から人工造林を差引いて算出。

・林道開設量

(単位：千km)

区分	現行計画	変更計画	(参考)実績
林道開設量	14.6 (1.0)	9.7 (0.6)	(0.5)

注1：実績値は林野庁業務資料より算出。
注2：変更計画は、効率的施業森林区域等における林道開設量。

(参考) 森林施業面積

(単位：千ha)

区分	現行計画	変更計画	(参考)実績
森林施業面積	—	8,944 (596)	(515)

注1：森林施業面積は、人工造林、下刈り、間伐等の各施業面積の合計。
現行計画は、間伐面積の計画量(5,886千ha)を記載。
注2：実績値は林野庁業務資料より算出。